

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

躍進目覚ましく〜力を示した県通信陸上

6月29日(土)、30日(日)、全日本中学校通信陸上競技岩手県大会が北上陸上競技場で行われ、胆沢中特設陸上部が素晴らしい活躍を見せてくれました。東北大会には、昨年の2名を大幅に上回る5名が出場権を獲得し、8月6、7日に福島県で行われる大会に臨むことになりました。

決勝出場者の結果

3年男子 100m	1位 ◎阿部壮大	11秒72
共通男子 200m	2位 阿部壮大	23秒88
共通男子 800m	2位 ◎小野寺颯太	2分05秒45
1年男子 1500m	2位 ◎石川虎太郎	4分37秒92
2年女子 100m	5位 小野寺まゆ香	13秒71
3年女子 100m	7位 関谷光優	13秒28
共通女子 200m	5位 ◎関谷光優	27秒11
共通女子 800m	4位 ◎高橋知広	2分23秒52
低学年女子 4×100mリレー	6位 胆沢中	54秒75
	加藤璃乃 菅原陽菜 高橋虹羽	
	小野寺まゆ香 村上虹七	

◎は東北大会出場選手

東北大会の前には県中総体も控えており、今回参加した選手のほとんどが出場し、より良い記録と順位を、さらには全中参加記録の突破を目指します。私も二日間、しっかりと応援させていただきましたが、生徒たちの活躍を間近に、それもたくさん見ることができ本当にうれしい二日間となりました。

まだまだ伸び代十分の選手たちばかりです。さらにしっかりと練習を積んで、各々の目標を是非クリアしてほしいと思います。



☆初日は地区大会とは打って変わって気温が低く、終日雨が降りしきる悪条件の中で行われました。トラック種目にはかなり厳しい条件だったようです。



☆ゴール直前まで結果がわからない僅差の勝負が続きました。100分の数秒が勝負の分かれ目となりました。



☆リレーも健闘しました。共通男子は決勝進出まで0.07秒、低学年女子は東北大会に0.45秒まで迫りました。



☆地区中総体からわずか2週間ほどの練習期間で着実にレベルアップした選手たちです。県中総体でもさらなる飛躍が大いに期待できそうです。



☆一日だけの種目もありましたが、ほとんどの人が二日間参加し、応援やサポートを頑張ってくれました。まさにチーム胆沢の面目躍如(世間からの評価を得て、その人本来の姿が生き生きとしている様)を体現していました。

尚、今後の陸上関係の予定は次の通りです。

7/13~15	県中総体
8/6~7	東北大会(福島県)
8/21~24	全日中陸上競技選手権大会(大阪府)
8/25	胆江地区中学校継走大会
8/31	胆江地区中学校陸上大会
10/11~13	ジュニアオリンピック(神奈川県)

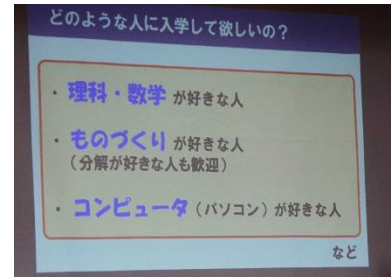
※新戦力の登場も期待したいところです。

高校説明会を行いました



7月2日(火)、3年生の生徒と保護者を対象とした高校説明会を開催しました。保護者も60名ほどの参加があり、進路へ関心の高さをうかがい知ることが出来ました。久しぶりに気温が上がり、体育館はむせるような暑さでしたが、生徒たちの聞く態度はとても立派で、それをまずほめてくださった高校の先生がいたほどでした。

高校入試は、私の頃はどちらかというと高校側に主導権がある買い手市場でしたが、最近では少子化の影響か、受験する側の売り手市場にシフトしてきている感があります。高校側の説明を一通り聞いてみた印象では、「学校の特色を理解し、学ぶ意欲がある人は基本的にウエルカム!」という姿勢が感じられ、一人でも多くの生徒を確保したい高校側の熱意がひしひしと伝わってきました。とはいえ、もちろん無条件で入学できる高校など存在しません。一関高専の説明では、「好き」であることを一番の条件にあげていました。好きこそものの上手あれ(好きな事にはおのずと熱中できるから、上達が早いもの)ということわざがありますが、実業系の高校の場合はまさにこれが当てはまります。



今日学んだことを、是非お家でも話題にしていたけると幸いです。

今週は教育相談週間です

地区中総体が終わり、ちょっとだけ気持ちにゆとりが出てきているこの時期は話を聞くのにはうってつけです。是非担任の先生としっかりと向き合って、何なりと話してほしいと思います。